Vol.128

院長　関の

Face to Face

2019年 2月 1日発行

夢のがん治療…光免疫療法

光免疫療法とは、がん細胞にだけ結合する抗体に光る色素「ＩＲ７００」をくっつけて静脈注射で体内に入れ、近赤外線を当ててがん細胞を破壊する治療のことです。体内に入った「ＩＲ７００」はすぐに近赤外線のエネルギーを吸収し、化学反応を起こしてがん細胞の膜に小さな傷をつけるため、複数の傷がつくとがん細胞がものの１～２分で死滅するという画期的な治療です。がん治療といえば、外科手術、化学療法、放射線治療などが主流ですが、これらは本来がんと戦ってくれるべき「免疫機能」までも著しく弱らせることが弱点でした。先日ノーベル医学生理学賞を授賞した「オプシーボ」などの免疫療法は、免疫は強化してもそれ自体ががん細胞を殺してくれるわけではありません。一方この光免疫療法はがん細胞だけを死滅させるだけではなく、免疫細胞を活性化させてくれるそうですからまさに夢のような治療法です。この治療の開発者は米国立がん研究所の主任研究員である小林久隆氏です。この治療にかかる費用は比較的ローコストだそうですから、実現に向け、早く治験を始めて欲しいと思います。がんは身近な病気ですが戦うにはお金も体力も精神力も必要です。この夢の治療が実用化されれば、医療界だけでなく、社会全体に大きな革命を起こすのではないかと期待しています。

◇

関　修一（せきしゅういち）
健育会　東銀座整骨院・整体院・鍼灸院　院長

代替医療の総合治療院としての確立を目指す。タイトルの face to faceは「患者さん自身と向き合って患者さんの症状と闘う」ことを願ってつけた

※毎月一日の発行です